

## 第9章 ユーティリティ供給計画

### 第1節 ユーティリティ供給計画

#### 1. 特別高圧電力

不燃ごみ減容固化施設では、高圧受電としているが、本施設では特別高圧受電となることから、今後電力会社と協議を行うが、電力会社との責任分界点として、特別高圧用門型引留鉄構を本施設の北東側に設置する計画である。

本施設における受電容量は、メーカーヒアリングにより、以下のように想定する。

- ・ 3 φ 3 W66 k V50Hz
- 2 回線受電（常用一予備）
- ・ VCB : 75 k V800 A

#### 2. 給水計画

不燃ごみ減容固化施設へは、長坂浄化センターから 2.0 m<sup>3</sup>の受水槽へ給水されている。

本施設で使用するプラント用水及び生活用水への給水量等を考慮し、今後上下水道局と協議を行い、新たな給水管を整備する計画である。

日最大給水量は、メーカーヒアリングにより、約 200 t /日と想定する。

#### 3. 排水計画

不燃ごみ減容固化施設では、公共下水道処理区域外であるため浄化槽により汚水処理を行っている。

本施設では、プラント系排水も発生することから、浄化槽での処理は困難であるため、今後上下水道局と協議を行い、新たな排水管を整備する計画である。

日最大排水量は、メーカーヒアリングにより、約 100 t /日と想定する。

#### 4. 燃料供給計画

現在、建設計画地周辺には都市ガスの供給はされていない。

想定する都市ガス使用量では、年間 10 万 m<sup>3</sup>以上の大口契約となり、初期投資と取扱い上の管理を考慮すると化石燃料（軽油、重油、灯油等）の方が、場内での備蓄もでき最適と思われる。

燃料供給計画については、非常用発電機及び収集車等にも使用できる軽油を基本として計画する。

年間最大使用量は、メーカーヒアリングにより、約 140kL/年と想定する。

## 第10章 概算事業費の算定

### 第1節 概算事業費

#### 1. 概算建設費の算定

施設建設工事費については、メーカーヒアリングより提出された概算建設費を整理したものより設定する。敷地造成費等については、項目別に、概略算定し、表10-1-1に示す。

表10-1-1 概算建設費

区 分		規 模	建設費
施設建設工事	焼却施設	約 360 t / 日	約 190 億円
	不燃ごみ等選別施設	約 30 t / 日	約 26 億円
敷地造成費等			約 13 億円
合 計			約 229 億円

※消費税、用地買収費は含まない。

#### 2. 概算維持管理費の算定

メーカーヒアリングより提出された概算維持管理費、売電収益を整理し、表10-2-1に示す。

表10-2-1 概算維持管理費

区 分	維持管理費 年間補修費	売電収益	合 計
焼却施設	約 5.8 億円	約 1.8 億円	約 4.0 億円
不燃ごみ等選別施設	約 0.6 億円		約 0.6 億円
合 計	約 6.4 億円	約 1.8 億円	約 4.6 億円

※年間補修費は、20年間分の年間平均とする。人件費、消費税は含まない。

## 第 11 章 事業工程計画

本施設の整備に係る事業スケジュールを表 11-1-1 に示す。

表 11-1-1 事業スケジュール

区 分	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
実施設計		造成設計	施設設計				
造成工事			造成工事				
建築工事				建築工事			
プラント設備工事					プラント設備工事	試運転	稼働